

委員会議事録

【開催概要】

会議名称	第3回四万十町男女共同参画推進委員会
開催日時	令和5年12月18日(月)13:30～
開催場所	四万十町役場 西多目的小ホール
出席委員 (名簿順表記)	・牧野利恵子委員 ・吉村和子委員 ・田邊章二委員 ・尾崎弘明委員 ・山本由美委員 ・野村宏委員
欠席委員 (名簿順表記)	・山下建委員
事務局	・町民課:3名 ・(株)ぎょうせい:3名

1. 開会

●司会

令和5年度四万十町男女共同参画推進委員会を始めさせていただきます。

初めに委員長からごあいさつをお願いします。

2. 委員長あいさつ

●委員長

前回、基本目標Ⅰ、Ⅱを協議し、修正点がありました。事務局で修正したものと基本目標Ⅲについても話を進めて行くこととなりますのでよろしくお願いします。

●事務局

では、次第に沿って進めてまいります。進行を委員長へ交代いたします。

3. 議題

(1)第3次男女計画(案)について

●委員長

本日の議題は、前回に引き続き、第3次四万十町男女共同参画計画となります。引き続き、事務局より説明がありますのでよろしくお願いします。

●事務局

第3次四万十町男女共同参画計画案について説明させていただきます。

先ほどの委員長からの説明にもありましたが、第2回委員会の後に変更した点があります。今回は、前回説明した基本目標Ⅱまでをもう一度簡単に説明し、質疑応答をとらせていただきます。その後、基本目標Ⅲの説明および質疑応答、第6章と資料編の説明および質疑応答、その他、閉会という流れになります。

・変更箇所の説明、前回委員会質問事項の説明

●委員長

ありがとうございました。では、事務局からの説明した内容について何かご質問等がありますか。

●副委員長

今後としては新しい部分の確認ということになるのでしょうか。

●事務局

はい。前回説明させていただいた内容については、承認いただいているものとして進めようと思っております。

●委員長

それでは、特にご意見等はなく、前回、委員の皆さまからも承認をいただいていますので、気がついたところがあれば事務局へお願いしたいと思います。

それでは、引き続いて基本目標Ⅲについて事務局より説明をお願いします。

●事務局

・基本目標Ⅲの説明

●委員長

ありがとうございました。事務局より説明がありました基本目標Ⅲの内容について委員の中でご質問はありませんか。

●牧野委員

基本施策Ⅲの【安心して暮らせるまちづくり】のところで、今回、すっきりとして目標は分かりやすくなっています。

性の在り方が問題になり法的にも改正したこと等、多様になっている事についてどのように表記していくのかわかりづらいです。

学校教育や感染症、発達段階に応じたところの支援、健康教育とあるが、男女共同参画社会とは全ての人の多様性を認めた社会ということですね。マイノリティについて悩んでいる人をどう生きやすい社会にするか、世界的に多様性を受け入れられているのでそこを記述してほしいと思います。

●事務局

具体的な記述であれば、この基本施策 8 の【男女が互いの性を理解し尊重する環境づくり】への記述が妥当な内容だと思います。

●副委員長

社会的な流れとしては多様性を認めるという所を受容するといった表現です。

●事務局

マイノリティの方が生きやすいよう多様性を認めていく啓発活動といった内容を精査し入れ込んでいきます。

●田邊委員

そうなったときにタイトルの男女という表記が正しいのか問題になると思います。

●副委員長

そこに関して、前回、基本目標Ⅰへ性的マイノリティに関する記述がありましたが、今回性的マイノリティを削除した理由を教えてください。

●事務局

性的マイノリティの削除については、前回計画で【LGBT などに代表される性的少数者、セクシャルマイノリティなど、性の考え方に対する固定概念や偏見により、困難な立場に置かれている人に対する偏見の解消と理解の促進】とありますが、大きく捉えて、今回は男女共同参画の理解促進の7番【男女共同参画への理解促進を図る啓発活動の実施】へ含めていますが、取り出して記述した方が

良い内容ということで、もう少し具体的に書いた方がよろしいですか。

少し補足をさせていただいてよろしいでしょうか。性の多様性への配慮ということについて、当然記載されるべきと思いますので、記載する方向で修正させていただきます。男女と書ききることがどうかというところでは、基本的にベースにあるものは男女共同参画社会推進というところで、これがすでに男女に分かれております。特に性的マイノリティという部分が男女とくっきり分けられるものではなく、お互いにどうしても境目があるものですので具体的に中間という表現が難しいです。そういったものも男女が互いの性を理解していく中にあるものという形で認識していただけるような書き方に努めていきたいと思います。

取組を外したというところですが、当然性の多様性への配慮というところで記載しますと、啓発はもちろんのことです。例えば、行政活動全般について、近年、四万十町の印鑑証明取得時の書類の中から性別表記の廃止など、行政手続きの上で排除可能なものをできるだけ実施していく取組もしております。そのような取組も当然行政としては進めていきます。具体的な取組を記載していただくことも再度整理しながら、先ほど削除した部分についてもできるだけ、より実際の形に実現できる形で記載させていただきたいと思います。こちらについては、委員会終了後に全体の修正をさせていただきます。最終的にはこの意見公募手続きが終わった段階で再度、全体の会議を行いますので、そこでご報告させていただきたいと考えております。

●委員長

ありがとうございます。そういった形でよろしいでしょうか。

●野村委員

54 頁、薬物乱用防止に関する取組がありますが、最近 10 代のオーバードーズ問題が取り上げられているので、違法薬物は当然ですが、市販薬に関するオーバードーズ問題も含んでいただきたい。

●事務局

検討しお示しできるようにいたします。

●委員長

モニタリング指標について、ここに含まれていないものは行っていないということでしょうか。

●事務局

他の課からまだ下りてきていない数値があるので入っていませんが、最終的には入れる予定です。また、モニタリング指標についても出てきた数値によっては意味がない、ふさわしくない場合は削除する場合もございます。

●副委員長

52 頁のモニタリング指標について、ここもスッキリしたと思います。

指標として挙がる数値の中で、【相談を誰にすれば良いか知らない】の表記について別の文言に変更したら良いのではないのでしょうか。

●事務局

知っている人の割合も出ているはずなのでそのように表記を変更します。

●副委員長

DV関係の相談に関して、公共のトイレでも必ずカードを置いていたり、ポスターも貼っていたり、広報でも掲載し周知されているのに、知らない人が増えたというのは非常に悲しい現実です。

●事務局

もっとできる事があるのかもしれないので、引き続き、啓発活動を行っていかねばいけないと思

います。

●牧野委員

特に若い世代は、自分の都合の良い情報しか目にしないというところがあります。新聞を読まずテレビも見ない、だから町の広報ももちろん見ないといった人が増えています。こういう世代が多い中で、的確な情報をどう知らせていくかが重要だと思います。

●事務局

各世代に響きやすい方法があると思います。行政で工夫し各課にもお願いし、取り組んでまいります。

●山本委員

50 頁のモニタリング資料について、防災会議における女性委員の指標が平成 30 年度は 3.3%、令和 5 年度は 16.7%と高くなった要因はどういったことでしょうか。

●事務局

防災会議は30人で構成されている組織になります。その中で女性が多くなれば割合が上がっていくので、令和 5 年度は女性の委員さんの割合が多かったのではないのでしょうか。

●副委員長

48 頁のモニタリング指標ハローベビー・スクールの参加者数について、発行した母子手帳の数から割合的にどれだけの方が参加したかが見える方が良いと思うのですが。

●事務局

平成 30 年は未実施なので人数が出ていない状況です。モニタリング指標として比べることができないので設けるべきなのか現在検討しているものです。こういうことを実施しているということで、令和 5 年度の数値をお示しをすることで良ければ、残しても良いのではないかと考えています」。

●副委員長

こういう場ができたというところを知る上では大事ではないのでしょうか。

●事務局

担当課とも話をしてみますが、割合の方で記載するように検討します。

●副委員長

もっともらしく見えるのではないかなと思います。

●山本委員

48 頁ですが、介護休業の所得者数の割合は平成 30 年度令和 5 年度ともに 0%となっていますが、令和 5 年度を何%かにした方が良いのではないかなと思います。

●事務局

これは町職員の数字を入れていますが、実際取得者がいないのでどうすることもできませんが、町民の方の数字というのがここに反映できていないので、ここへ反映ができそうであれば反映します。

●委員長

では、基本目標Ⅲについては、委員さんの中で指摘があったデータがありますので、そこは修正してもらいたいと思います。それでは他にないようでしたら、第 6 章の説明を事務局からお願いします。

●事務局

・第 6 章の説明

●委員長

ありがとうございました。今、第6章計画の推進に当たってというところの資料編というものの説明がありました。これについて委員さんの方から何かありますか。56頁の7番については先ほどご指摘があった箇所でしょうか。

●事務局

はい、ここは文言と数値を修正いたします。

●委員長

特に気になる点はないでしょうか。

先ほどの56頁については、この数字を数値目標の設定ということで、割合を挙げていますがこの数字でよろしいでしょうか。

●牧野委員

具体的に見えるのは町民アンケートで、育児休業や介護休業を取得した人は町民のアンケートによるとそちらの方が、庁内の人よりも多かったという記載でした。

日本の中では介護休業取得された人が少ないということですね。この数値は意識調査しないと具体的には出てこないのでしょうかね。

56頁、DV関係の相談について、町民の割合が36.7%と中学生のどの世代が多かったのでしょうか。多かった世代により啓発を行うターゲットが違ってくると思います。

●副委員長

このアンケートはもっと重視し、気をつけて見なければならぬというように感じました。

2番の所で男女共同参画だけでなく他の人権課題もという扱いになっていますが、男女共同参画も人権問題の一つだと思うのでこの表記も直していただけたらと思います。

●事務局

分かりました。

●委員長

その他どうでしょうか。目標値については今言われたこともありますがこの表記で構いませんか。

●副委員長

7番は100にするということですね。わかりました。防災会議はあて職なので25%に上げていくのが可能なかわからないです。

●委員長

委員さんは30人と決まっているのでしょうか。

●事務局

はい。決まっています。

●牧野委員

婦人会や民生委員協議会の会長ですと女性委員ですが、自主防災連絡協議会などは女性を選んでくれれば良いが、会長という職からではなく組織内から代表を選んでいただけるようにしてはどうでしょうか。たとえば今回は女性を出してくれませんかとなれば25%が可能になるかもしれません。

●委員長

前回は防災会議の委員さんは社協も男性でしたが、危機管理課の方から女性の委員さんを出してもらいたいという、社協から女性が来ていますし、障害者連盟についても女性が来ているので、そういった形で役場の方から代表という形で出席してもらえよう団体の方へ伝えてもらうと良いかもしれません。防災会議については、女性委員を増やすのは難しいかもしれませんがそういう思いで取り組

んでいただいて、この任期は 2 年でしたか。

●牧野委員

計画で 25%として実際の会議でもこの数値を目指してもらおうところがけてもらえたらというところ
でお願いします。

●事務局

担当課の方ともそのように話をしてみます。

先ほどの牧野委員の【DV 関係の相談を知らない人はどの世代が多かったのか】という質問ですが、
アンケート調査結果から、男性よりも女性の方が知らない率が高くなっています。年代的にも少し若
めの方が多いため、傾向として若い人方が知らない率が高いです。

●委員長

男性は知っている人が多いのでしょうか。

●事務局

男女で比較すると女性で【知らない】の割合が多い結果です。

●委員長

他皆様の方から意見はありませんか。

ないようでしたら、第 6 章の計画の推進と資料編について修正し、これで進めていくということによ
ろしいですか。

・一同同意

では、第 6 章まで終わりましたので、その他に移りたいと思います。事務局の方からお願いいたしま
す。

4. その他

●事務局

今後のスケジュールをお知らせしておきます。計画素案の意見公募、パブリックコメントを年明け令
和 6 年 1 月 10 日から 1 月 31 日まで行う予定としております。

その意見公募の内容を踏まえ、次回の委員会を開催いたします。開催予定は 2 月の上旬から中旬
を予定しておりますので、また日程調整をさせていただきます。よろしく願いいたします。以上です。

●委員長

ありがとうございます。来年 1 月 10 日から 31 日までが意見公募。それが終わり、次の委員会を 2
月上旬から中旬で行いたいということです。皆さんよろしく願いいたします。

5. 閉会

●委員長

委員さんの方や事務局から何もなければ、本日これで委員会を終わりたいと思います。

皆さんありがとうございました。お疲れ様でした。

以 上